

世田谷村日記

石山修武

八月十六日

午前中、世田谷村で休む。十三時過研究室。打ち合わせ。十五時幸脇夫妻来室。その後、再び打ち合わせ。十九時半迄。

八月十七日

午前中世田谷村。昼過研究室。ロシア疲れいまだ抜けず、そんな日常の体力と気持の狭間で、決して平安な日々ではない。昼過ぎ研究室。モスクワ大学より、早大総長へのFAX届く。シエラトンホテルから送った手紙やFAXの一切が届いていないのに、モスクワ大学に代表される官僚機構だけはしっかりしてる。気に入らない。十九日の広島での講演のシナリオ作成。雑打ち合わせ。十九時過 社長若松氏来室。早稲田通りのもめん屋で会食。お互いにロシア疲れのカゼ気味であったが、少し飲む。若松氏は明後日からカザフ行との事。油田だな。二十一時修了。二十二時世田谷村。明日は早朝六時に迎えが来て猪苗代まで行かねばならない。キツイがマア仕方ないか。本当にゆっくりと休みたいのだが、そのチャンスは死ぬ迄無いな。忍田邸のチョツとしたアイデア浮かぶ。

八月十八日

朝五時半起床。朝食。六時友岡君迎えに来て猪苗代へ。九時二〇分郡山南インター出口。十時猪苗代湖鬼沼、アジア農芸村前進

基地現場。コルゲートパイプ一本と受水管2本の組立てが完了していた。三〇年振りのコルゲートパイプ・アーチ型との再会である。地元業者と打ち合わせ。コルゲート上の土の被覆、山側のよう壁の件等。十一時三〇分修了。東京へとんぼ返り。只今十七時東北道を走り、首都高王子北を厚生館現場へ向けて走っている。十八時過厚生館現場。雲描き島倉二千六さんの天井、壁画を見る。木本君のザク口見る。双方共に見事な出来栄であった。近藤理事長、西山氏と会食。二十三時世田谷村に戻る。

八月十九日

六時前起床。七時五〇分東京発のぞみ5号で広島へ。車内で講演用のスライド整理。流石にウトウトとし続けた。十一時四十五分頃広島着。八丁堀シャンテへ。広島町村長会研修会の会場へ。昼食後、講演。十四時十五分、定刻通り修了。その後、前広島市長平岡さん等とミーティング。十六時広島NPO、NGO団体と会合。十七時過修了。広島駅グランヴェールホテル地下で平岡さん、国近さん、塚田君、黒田さん、ニセ・ガンジー等とビールを飲む。広島市との附合いも、実感としてはようやく本格的なものになってきた。平岡さんも市長職を捨て、本音を語り始めているし、国近さんもオバさんの直観を語り始めている。市役所の塚田君も、チョツと現実の壁に直面して、複雑な大人になり始めた。要するに皆、成熟し始めているのだ。幸か不幸か、広島とは良質の人格と附合わせてもらっている。この人物達との附合いは大事にしなれば。人生というのは、下らない言い方になってしまわざるを得ないのだが、膨大な無駄の蓄積の山からかうじて、カビの様な花が咲く機会が出現するものらしい。只今、二〇時。十九時三十一分発ののぞみが十分遅れで広島を発ち、岡山に向けて

走っている。只今、二十一時過大阪を過ぎた。流石に一時間半程正体もなく眠ってしまった。広島との附合いは大事にしなくては、の実感を身体の奥底から得たのが、今度の広島行の収穫であった。二十三時五〇分東京駅より中央線で新宿へ。二十四時四〇分世田谷村帰着。

八月二〇日

午前中、世田谷村で休む。広島の塚田君、ニセ・ガンジーに葉書きを書く。今、動いた方がよい様な気がしきりにするのだ。皆が疲れて停滞している今のような時こそ、風を吹かせる必要がある。どんな風でも、何かが広島の人間の気持ちの中に少しでも流れ込めば良い。十二時前、世田谷を発つ。研究室で雑事をすませた後、十七時五反田へ。打ち合わせ修了後十九時過より友岡社長と会食。友岡社長のインドビジネスの現在の話しが妙にリアリティーがあった。二十一時半山手線で帰る途次。二十二時過世田谷村帰着。

八月二十一日

家内、軽井沢へ。体調を少しづつ回復させる。体あつての気力だ。そんな真理が最近ことさら身にしみる。今日は利根町行。百人スクールで少しまとまりのある話しができるの良いな。おばさん達はしたたかだけれど、活力がある。小さな本格的な自力農園運動に育てたい。十時十分新宿待ち合わせ。十一時半取手着。佐藤さん迎えて下さる。十二時頃佐藤宅で利根町産の心尽しの昼食をいただく。十四時較もう神社下の角田さん宅で百人スクール定例会。ロシアのダーチャについて先週の体験を交えながら述べる。十五時過修了。その後、約二十名程の利根町の人々から意見その

他活発に出る。長島さんの決断によって、百人スクールは四反部の田畑を、考え行動する対象として手中にした。長島さんに感謝。長島さんより、先ず一反部で白菜を秋より種まきしたい旨の提案そして百人スクールのメンバーよりもう一反でソバを作りたいの提案があり、会は活発な意見、その他が入り乱れた。その後、石川さんの菜園を再訪。ロシアのダーチャよりも本格的な菜園で、つけものその他をいただきながらビール、お茶を飲む。風良し。こんな事で充足してしまつて良いのだろうかという不安もありながら、でも充足してしまう。十七時過まで。十九時上野駅で友岡君とチリワインを飲み、二十一時三〇分過、世田谷村に戻る。今日は戻つても一人で猫とウサギしか迎えてくれない。